

『入門 機械学習による異常検知 — R による実践ガイド —』（コロナ社、2015）初版第4刷の正誤表

Tsuyoshi Idé (井手 剛) [ide@ide-research.net](mailto:ide@ide-research.net)

平成28年9月13日

# 1 | 異常検知の基本的な考え方

現時点で判明している誤りはありません。

## 2 | 正規分布に従うデータからの異常検知

現時点で判明している誤りはありません。

### 3 非正規データからの異常検知

現時点で判明している誤りはありません。

## 4 | 性能評価の方法

現時点で判明している誤植はありません。

## 5

### 不要な次元を含むデータからの異常検知

- p.132 上から 4 行目。吉川岳様のご指摘に感謝いたします。
  - 誤:  $N \times N$  の中心化グラム行列の上位  $r$  個の規格化された固有ベクトル  $\mathbf{v}_1, \dots, \mathbf{v}_m$  を求め
  - 正:  $N \times N$  の中心化グラム行列の上位  $m$  個の規格化された固有ベクトル  $\mathbf{v}_1, \dots, \mathbf{v}_m$  を求め

# 6

## 入力と出力があるデータからの異常検知

現時点で判明している誤りはありません。

## 7 時系列データの異常検知

- p.215 図 7.9 のキャプション。小野剛様のご指摘に感謝いたします。
  - 誤: 図 7.9 部分空間同定法の説明。
  - 正: 図 7.9 部分空間同定法の説明。本文中の設定だと  $p$  と  $f$  には一般に多少の重なりが生じます (図 7.4 も参照)。



## 8 | よくある悩みとその対処法

現時点で判明している誤りはありません。

## 付 録

現時点で判明している誤りはありません。

## 索 引

現時点で判明している誤りはありません。